

港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な農水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合・沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。

令和6年度は、第9期北海道総合開発計画に示された施策を推進するため、「我が国の豊かな暮らしを支える北海道～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」に向けた基盤整備を重点的に取り組みます。

◆ 網走港

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、外郭施設を整備し、防災・減災、国土強靱化を推進します。



網走港新港地区 南防波堤改良

◆ 紋別港

港町地区において、安全・安心な荷役環境を確保するため、係留施設の老朽化対策を行うとともに、屋根付き岸壁を整備し、水産物の商品価値を向上させ、輸出競争力の強化を図ります。また、新港町地区において、船舶の安全な利用を確保するため、水域施設の整備を行います。



紋別港港町地区 水深4m西物揚場改良

令和6年度 港湾整備事業の概要

港 湾 名	地 区 名	事 業 の 概 要
重要港湾 網 走 港	新 港 地 区	南防波堤改良
重要港湾 紋 別 港	港 町 地 区	水深4m西物揚場改良、 水深7.5m東岸壁改良
	新 港 町 地 区	水深7.5m泊地

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて

地球温暖化防止が重要な政策課題となっている中で、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしてグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。北海道における2050年カーボンニュートラルに向けた取組を推進し、強靱で持続可能な国土を形成していきます。

i-Construction

建設施工段階において、測位技術・センサー・通信技術等を組み合わせることで施工の効率化を図り、建設機械からのCO₂排出量を削減。



ICT建設機械による施工

ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組事例

「道の駅」を活用した次世代自動車普及促進

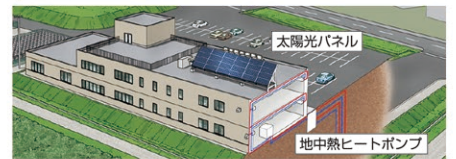
次世代自動車の普及を促進するため、国・北海道・自治体、管理者と連携し、「道の駅」へのEV急速充電器設置を促進。



ドライブ観光中に「道の駅」で充電する次世代自動車（道の駅「遠軽森のオホーツク」）

河川防災STへの太陽光発電設備の設置

河川防災ステーションに太陽光発電設備、地中熱ヒートポンプを設置し、再生可能エネルギーの導入を促進。



多様な人材の確保



シーニックバイウェイ北海道

～東オホーツクシーニックバイウェイ～

～層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ（候補）～

シーニックバイウェイとは地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。

網走管内では、「東オホーツクシーニックバイウェイ」がルート指定され、「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」がルート指定を目指して候補ルートとして活動しており、それぞれの団体が「みち」を活かした魅力ある地域づくり、景観づくりに取り組んでいます。



東オホーツクシーニックバイウェイの取組



層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイの取組

協働型道路マネジメント

紋別協働型道路マネジメント

冬道の安全を確保するための住民による砂まき

地元住民等（北海道紋別養護学校）と協働して、冬道の安全性確保を目的として、ペットボトルへの砂詰め活動及び砂詰めペットボトルの配布活動を実施し、冬道の安全を確保。



ペットボトルへの砂詰め活動

国道334号斜里ウトロ間路線連絡会議

冬期の景観を確保するための住民による除雪

地元住民等と協働して、防護柵の堆雪を除雪することにより、観光ニースの高い流氷景観の眺望スポットを創出。

（令和4年度手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）大賞部門受賞）



防護柵の堆雪除雪作業



みなとオアシス

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じて地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として登録を受けたもので、管内では「みなとオアシス網走」と「みなとオアシスもんべつ」の2カ所が登録されています。

『みなとオアシス網走』は、流水観光の拠点である「みなと観光交流センター」を中心に、隣接している中心市街地と連携したみなとの賑わい空間を提供しています。



みなと観光交流センター

『みなとオアシスもんべつ』は、流水観光船「ガリンコ号」の発着ターミナルでもある「海洋交流館」を中心に、その周辺に位置する港の施設を活用し、みなとに賑わいと呼び込み、人々の交流・ふれあい拠点づくりを進めています。



ウォーターフロントフェスティバル



「わが村は美しくー北海道」運動

運動の目的

「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために2001年にスタートしました。それぞれの地域に大切なもの「地域の資源」を掘り起こし、地域の活力を高める活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

取組の一環として2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。

第11回コンクール

【優秀賞】 合同会社 ひほろ笑顔プロジェクト

【奨励賞】 株式会社 涌上町和ハッカ・ラボ（中央） つべつ豆のわ！！プロジェクト（右）



豚から広がる「もの・ひと・まち」づくり



和ハッカの蒸留作業を見学



あいおい味噌の生産を継承